

派遣留学生帰国報告書

* 帰国後の情報を入力してください

記入日	2021/7/15
所属学部・ 研究科・学府	国際教養学部
所属学科・専攻	国際教養学科

1. 留学先について

留学先大学名	成均館大学							
留学先所属学部等	社会科学部メディアコミュニケーション学科							
留学期間	出発日	2021/1/23	入学日	2021/2/22	修了日	2021/6/4	帰国日	2021/6/6
住居	<input type="radio"/> 大学(紹介)の寮・アパート	<input type="checkbox"/> 民間アパート		その他()				
	通学時間	10分					On campus	
	通学方法	徒歩						
	居室スペース	<input type="checkbox"/> 個室	(2) 人部屋		その他()			
	共有スペース	<input type="checkbox"/> 完全個室	<input checked="" type="radio"/> キッチン	<input type="checkbox"/> トイレ	<input type="checkbox"/> バス	<input type="checkbox"/> リビング	その他()	
食事	自炊	20 %	学食	%	外食	50 %	その他	30 % (買ったものを家で食べる)
保険	海外旅行保険(名称)	JTBTータルサポートプログラム						
	留学先国・大学指定の保険(名称)							<input type="checkbox"/> 加入必須
	その他							
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)							
	成田 ⇄		仁川(飛行機)			⇄ ソウル(検疫タクシー)		

2. 留学にかかった費用について

総費用	968,214 円							
出どころ								
自費	貯金	200,000 円	アルバイト	150,000 円	その他	円		
援助	親	1,000,000 円	家族・親戚	円	その他	円		
奨学金	JASSO	円	その他名称()					円
その他	その他()							円

2-1. お金の管理方法

渡航時	現金	20,000 円	その他(デビットカード)	500,000 円
留学中	海外送金	キャッシング	その他(クレジットカード)	

2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	現地の指定された銀行(ウリ銀行)で入金
住居にかかった費用	Transferwiseを使つての送金
その他	

2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)			38,941	円
海外旅行保険			69,720	円
危機管理サービス				円
査証・在留許可証			0	円
住居	ドル	1,700	186,640	円
光熱費			0	円
食費				円
通学に要する交通費			0	円
教科書、教材費	ウォン	24,000	2,400	円
その他大学に支払った経費				円
その他 (隔離中の寮)	ウォン	842,000	84,200	円
その他 (PCR検査)			94,311	円
その他 (入国後の移動手段)			30,320	円
その他 ()				円

3. 学業面

履修科目名	種類 ^{ex.正規、聴講}	単位数	単位互換認定申請の有無			
1 Principle of Digital Public Relations	正規	3	<input type="radio"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
2 Introduction to Media Psychology	正規	3	<input type="radio"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
3 Korean Cinema in the World	正規	3	<input type="radio"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
4 Consumer Behavior and Brand Marketing	正規	3	<input type="radio"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
5 News and Media Literacy	正規	2	<input type="radio"/>	有	<input type="checkbox"/>	無
6 Intermediate Korean	聴講	6	<input type="checkbox"/>	有	<input type="radio"/>	無

3-1. 授業科目の選択、登録方法

履修登録専用のアプリを使って履修を申請した。履修は早い者勝ちなので、1つは登録ができなかった。その科目は教授に直接メールを送ったところ、履修を認めていただいたので、履修することができた。

3-2. 授業内容、方法に関して

授業のスタイルは、2つの授業がZoomを使った同時双方向型、3つはオンデマンド型、そして韓国語の授業がオフラインの3形態だった。Zoomを使った授業では、毎回ブレイクアウトルームを使って少人数でディスカッションをし、グループで意見をまとめ、アイデアをLearning X(千葉大でのMoodle)に提出するという形で授業を進めていった。また、授業の前に事前にアップロードされた動画を視聴し、それをふまえた上でZoomの授業に参加するというFlipped Learning形式をとっているため、インプットしたことをすぐにアウトプットできて、勉強したことが身についていることを実感することができた。オンデマンドの授業はディスカッションもなく、ただ動画を視聴するだけなので、物足りなく感じた。韓国語の授業は、オフラインとオンラインを選べるのだが、私はオフラインを選び、学校で授業を受けた。授業中はすべて韓国語で少し難易度が高いが、先生がとても分かりやすく教えてくれたため、上達したように思う。

3-3. 語学力について

大学では英語、日常生活は英語と韓国語の両方を使っていた。授業では、英語で現地の学生とコミュニケーションをとったり、レポートを書いたりしていたので、スピーキング能力とライティング能力は上がったと思う。また、留学生同士で話すときも英語だったので、日常で使うように英会話能力も上がったと感じる。韓国語に関しては、渡航するまでに読み書きはできるようにしていたが、実際に現地の人々と話すと、スピードが速くて最初は聞き取ることも難しかった。しかし、生活していくうちに耳がどんどん慣れてきて、簡単な会話はできるまでには上達することができた。

3-4. 図書館など学内施設について

成均館大学では図書館が夜遅くまで開いており、席数もとても多く、勉強するのに最適な場所だった。予約制の自習室やコンピュータが使える部屋など、学生の勉強に必要なものがすべてそろっていたように思う。そのため、朝から行かないと席がほとんど埋まってしまうほど学生から人気が、いつも人でいっぱいだった。私もよく利用していたのだが、5月ごろになって学内でも陽性者が始まったところからは、密度が合わなくなったので行かなくなってしまった。

3-5. その他

4. 生活面

4-1. 住居について

留学生のInternational Houseという寮に滞在した。この寮は女子寮で、各部屋2人ずつ(大体同じ国同士)の寮だった。0～6時は外から寮内に入ることができず、寮生ではない人の中に入れることもできなかった。キッチンが1階にあり、ランドリールームは3階にあった。私のルームメイトは日本人で、寮の中で日本人は私たちだけだった。住居は少し古く、2人で暮らすには少し狭いように感じた。トイレとお風呂は別だったのは良かったのだが、収納が少ない、トイレにペーパーが流れないといった点が少しストレスに感じた。それ以外は特に不満はなかった。

4-2. 食生活について

キッチンが寮の中で1つしかなかったので、朝にパンをトーストしたり果物をカットする以外は、あまり自炊をすることはなかった。また、韓国では日本よりも果物や野菜などの料理をするための材料が高かった。その代わり1食200～400円で抑えられるお店もたくさんあったので、そういったところで食事をしたり、テイクアウトをしていた。韓国料理はやはり辛口のものが多かったのだが、私は辛い食べ物が大好きなので、とても口に合って、韓国料理が大好きになった。

4-3. インターネット環境、携帯電話について

IT大国と言われているだけあり、外にいても無料のWi-Fiがあるので、どこにいてもデータを気にせずに携帯電話を使うことができた。寮内のネットワーク環境もよく、オンライン授業も問題なく受けることができた。携帯電話は日本で使っていたものをデータを使った分だけ払う最安値のプランにし、そのまま持ってきて、現地でSIMカードを契約した。SIMカードはグループ割で4カ月で40,000ウォン(約4,000円)のものを購入した。また、現地に到着した際に、追跡アプリなどをいれるために韓国の携帯電話番号が必要だったので、渡航前に日本から韓国のSIMカードを買うことができる会社で隔離期間中のSIMカードを購入した。

4-4. 服装について

到着時は真冬でダウンジャケットが必須なほど寒かった。しかし、一番寒い時期は隔離中で外にでることはなかったので、そこまで寒さに凍えることはなかったと思う。3月まではダウンジャケットを着ていた。4月になると大分暖かくなり、薄手のコートやジャケットでも大丈夫だった。4月下旬ごろにはアウターがなくても外に出れるくらい暖かくなっていた。5月下旬からはかなり暑くなってきて、薄手の長袖か半袖の服を着ていた。

4-5. 健康管理について

特にお腹を壊したり、体調を崩すことはなかった。手洗いうがいや消毒を欠かさず、寮内でも部屋を出たらマスクを必ずつけていた。できるだけ人混みを避け、感染の可能性がある場所に行かないよう心がけた。

4-6. 保険、危機管理サービスの利用について

特に利用することはなかった。

4-7. 課外活動について

課外活動はコロナということもあり、募集している団体も少なかったので行わなかった。

4-8. 学外のコミュニティとの交流について

留学生の友達の友達を紹介してもらい、観光地を案内してもらったり、ご飯を食べに行ったりした。コロナ禍ということもあり、学外のコミュニティを広げることはとても難しかったのが残念だった。

4-9. 日本から持参してよかったもの

・折り畳みケトル

隔離中によく使っていた。部屋の中には水しかなかったので、ケトルを使ってお湯を沸かし、コーヒーやお味噌汁を飲んでいました。

・日本食

韓国料理は大好きだが、やはり日本食が恋しくなった。レトルトの味噌汁やお茶漬け、お茶パックなどを持っていくとよいと思う。あと、現地でできた友達にプレゼントする用の日本のお菓子も持っていったら話題作りになってよいと思う。

・衛生用品

韓国では衛生用品が高く、日本のものよりも質が良くないと聞いていたため、大量に持参した。実際にかなり高かったので、持っていってよかったと思う。

4-10. 日本から持参したが不要だったもの

・カイロ

韓国の冬はとても寒いと聞いていたので、大量のカイロを持って行ったのだが、結局1つも使わなかった。かなりかさばるし重いので、持ってこなければよかったと思った。

・本

隔離中や暇な時に読むように何冊か持って行ったが、あまり読まなかったので持ってこなくても良かったかなと思った。かなり荷物になるので最低限でよいかと思う。

4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

食事の際のマナーがかなり日本と異なっていたので意識していた。例えば、食事中は利き手ではない手は机の上においてはいけない、食器を持ち上げてはいけない、など、日本とは真逆のこともあったので渡航前に覚えていったほうがいいと思った。そのほか、対人関係で習慣の違いで困ったことは特になかった。

4-12. 余暇の過ごし方

旅行

感染が怖かったため、旅行は特に行っていない。

その他 * 気分転換やストレス発散法など。

人が少ない時間帯を選んで、景福宮や国立公園、美術館などに行き、韓国の文化に触れることがとても楽しかった。また、食べることが大好きなので、市場やカフェなどで美味しいものを食べることができ幸せだった。

5. その他

5-1. 留学先大学について

成均館大学は、韓国でもトップクラスの大学で、設備や教育制度も整っており、勉強するのに最適な環境を提供してくれる大学だと感じた。また、韓国には日本人が多いというイメージがあると思うが、成均館大学は日本人が少ないという印象を受けた。(実際に私はルームメイト以外に日本人を知らない。)そして、何よりも学生の勉強意欲が高く、とても刺激をもらうことができた。授業はすべて英語で開講している授業をとったのだが、韓国人の学生の英語能力の高さにとても驚いた。ZOOMの授業でも積極的に質問したり、意見を交換していて、私も頑張ろうという気持ちになった。

5-2. 留学希望者へのアドバイス

派遣留学は、自分が本当に学びたいことは何か、留学先でどのようなことをしたいのか、など、自分の中の考えを見つめなおすことができるとも良い機会だと思います。また、短期の留学とは違い、現地で生活することや、現地の学生と一緒に授業を受けることができるのは、派遣留学の大きな魅力です。留学することで得た軸は今後の大学生活や人生においてとても大きな糧になると思います。千葉大学は協定校も多く、派遣留学に挑戦できるための環境が整えられているので、このような素晴らしいチャンスにぜひ多くの人にチャレンジしてほしいです！

5-3. 留学を終えて

今回、新型コロナウイルスによって渡航できなかった人が多い中で、運よく現地での留学を実現することができたことは本当に恵まれていたなと実感しました。サポートしてくださった留学生課の方々や先生方には本当に感謝しています。留学の準備をしていく中で、情報収集能力の必要性を強く感じましたし、その部分で成長できたのではないかなと思います。また、何度か渡航を諦めそうになったこともあったのですが、留学したいという強い気持ちを持ち続け、最後まで諦めずに準備に取り組み、最終的に渡航許可をいただけたことは、自分の自信にもつながりました。また、留学するまでは、自分の英語能力に自信もなく、積極的に発言することは苦手だったのですが、周りの学生に刺激され、英語を使うことに抵抗感がなくなり、グループワークでも積極的に意見をいったりまとめ役をすることができるようになったのは、自分の中で大きな成長だと思います。今回の留学を通して、勉強面でももちろん、人間的にも成長できたと思いますし、今後のモチベーションに繋がりました。これから残りの大学生活で、この経験を活かし、様々なことに積極的に取り組んでいきたいです。